

佐賀 SAGA

# 「寮歌は人生の応援歌」

寮歌はいつでもエールを送ってくれる。「歌詞はどれも純粹で真つすぐ。歌が描く青年の意志や生き方は、人生で背中を押してくれる応援歌です」。27年前から旧制高校や新制大学などの寮歌や校歌を歌う「佐賀県青春寮歌祭」を続ける。

## 佐賀県青春寮歌祭事務局長

### 大宅 公一郎さん(68)

＝佐賀市



来年の佐賀県青春寮歌祭の開催に意気込む大宅公一郎さん

部で、代表的寮歌「都ぞ弥生」(1912年)などを先輩からたたき込まれた。「カラオケなんかない時代。歌うのも自然と寮歌中心だった」。卒業後は佐賀県庁に就職。しばらくは寮歌から遠ざかっていたが、93年に転機が訪れた。北大野球部の佐賀遠征を

機に、県内のOB約10人が集結。宴席で寮歌を合唱すると、意外と盛り上がり「佐賀で寮歌祭をやろう」と意見が一致。県庁で他大学の卒業生にも声を掛け、佐賀でも始めた。

従来寮歌祭の多くは旧制高校OBを対象に開催していたが、佐賀では新制大学や私立大学にも門戸を開き、寮歌に限らず歌えるようにした。「間口が広ければ、人も集まり長く続くはず」。考えは奏功し、昨年は全国でも大規模となる25校300人で開催した。

さが人 2020

一方、課題は高齢化と次世代への引き継ぎだ。「旧制高校OBは鬼籍に入り、自分も27年分、年を取った」。かつては全国約50カ所で開催していた寮歌祭も、この四半世紀で約10カ所に減ったという。青春寮歌祭では現役の佐賀大生を招待しているが、母校の校歌や学生歌を知らない学生が大半だという。新型コロナウィルスの影響で、学生の歌唱練習もままならない。大宅さんは「文化継承が難しい環境の中で、どう伝えていくのか」と頭を悩ませる。新型コロナの感染拡大で、今秋の青春寮歌祭は初めて中止となった。「来年の開催も見通せないが、よそがやめても佐賀では続けたい」と力を込める。

旧制七高造士館(現鹿児島大)の寮歌「北辰斜め」の巻頭言はうたう。「歌は悲しきときの母ともなり、うれしき時の友ともなれば」。寮歌に励まされながら継承を模索する日々を送る。(米村勇飛)

配達の問い合わせ  
購読の申し込み

0120-44-012

(午前6時～午後8時)

ニュース・話題

佐賀総局

☎0952(26)718

FAX(23)851

〒840-0831

佐賀市松原1-1-31

メール＝

saga@nishinipon-np.jp

▽唐津支局

☎0955(72)300

FAX(74)706

▽鳥栖支局

☎0942(83)201

FAX(83)241

▽伊万里支局

☎0955(23)228

FAX(23)228

▽鹿島支局

☎0954(62)272

FAX(62)272

11人が3種目

鳥栖市藤木町のセンター会館で、無人機ドローンの競う大会「ドング」が開かれた。内外の11人が参加の機体で日頃の



おくや

年齢、住所、罹り主の順。掲載無付けは午後4時までに58822120

田代 タエ子(たえこ) 1日死去の8の26。葬2日午廣の佐賀メモリアル男幸司(こうじ)元局勤務さん。

松永 道さん(みち) 10月31日死去町八戸溝166の311時から鍋島町八戸ホールなべしまで。子(たけした)きみ

唐津